



植物の新しい価値観の創造

㈱伊藤商事

昨年7月に「屋内緑化推進協議会」という会が発足、私も発起人のひとりとして加わりまし た。多くの方と新しいご縁をいただき、また、いろいろ勉強する機会にも恵まれて、とても充 実した1年だったように思います。その中から常日頃感じていることをいくつか書いてみます。

新しい価値の創造!気に入っている言葉です。

私達は従来の「作り育てる従来の園芸」からやや視点を変え「植物のもっている様々な効 用」を切り口にして「植物と人との新しい接点」を提案しようとしています。前者の造園・園芸では、植物は修景の素 材として位置づけられていますが、私たちは植物に新しい価値を見出し、生活に取り入れようとしています。

古くは漢方薬や生薬等の伝統的な利用もありますが、まだほかにも「植物の新しい価値観の創造」がクローズアッ プされています。

建築会社は興味ないのかな?

例えばインドのカマール・メトル博士はアメリカTEDカンファレンスで長年の研究をスピーチしています。「自分で できる、おいしい空気の作り方」。そして植物を部屋に入れることにより、目の疲れ、肺機能等さまざまな症状が改善 したり、職能が20%もアップあがる・・・等説明しています。 さらに米国NASAではもっと踏み込んで、ある種の植 物はアセトン、ベンゼン、アルデヒド等の有害物質を分解して無害化するというような数値をあげ、15とか18種類の 植物を推奨しています。 新築の家やマンションではシックハウス症候群などいろいろな症状が出るとのこと、 どこか の国では1年は住まない方がいいとか…の話も聞きました。

大喜びで拝聴しました!!

先日、私どもの「屋内緑化推進協議会」で平野文男先生(森林セラピー専門医)による森林浴セラピーなるセミナー を受けました。フィンランドの美しい写真を見ながら、その効用をかなり詳しく話していただきました。3時間森林 浴をすると脳内のストレス物質が減少し、さらにNK細胞が活性化しガンになるのを防ぐ…とまで!!

私の今一番の興味は室内に植物を上手に取り入れることなので、質問タイムには、即座に「寝室に取り入れたらど うなりますか?」という質問をさせていただきました。答えは「森林浴をしながら寝ているようなもの…」という内容 でした。インターネットで「森林セラピー・平野文男」で検索していたらいろいろな取組等もたくさん紹介されていま す。 嬉しいのは八ヶ岳まで出かけなくてもマンションの今や寝室でも森林セラピーが実行できるということ。 私は正 にそのための器材や技術開発をしている訳で、先生はFBもされていたのですぐ友達申請させていただきました。

というような私、74歳。

イメージパース。

血圧不安定でこの2月には心筋梗塞も体験、現業はやらないことにしていますが、開発は趣味の延長で、おそらく死 ななきゃ治らない一種の病気なんでしょう。早く作らないと間に合わない?とますますモチ ベーションが上がっています。











kaede





「ワクワクひらひらリニモ あなたニモ」開催 全国都市緑化あいちフェア プレイベントに協賛

イベント関連委員会委員長 中島商事㈱ 中島吉之

「第32回全国都市緑化あいちフェア(以下:都市緑化フェア)」の開催に合わせ、周辺地域で実施される花と緑の活動や提案を紹介する「ひらひら日本2015実行委員会」は9月4日、都市緑化フェアのプレイベントとして「ワクワクひらひらリニモ あなたニモ」を開催した。

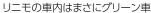
ガーデンを考える会では同イベントに協賛し、乗車チケットを50枚購入・配布して来場促進のお 手伝いをしたほか、ギターライブを開催するなど、イベントを盛り上げるための協賛を行った。

名古屋市と、愛・地球博記念公園がある長久手市を結ぶリニアモーターカー「リニモ」を貸し切り、車内を花と緑で飾り付けて実際に運行するというイベントで、当日参加した約120名の乗客を楽しませた。 有志らの手により、多彩な花や観葉植物、エアープランツをふんだんに使用して見事に飾り付

けられた車内は、まさにグリーン車! デザインを担当した実行委員の柵山直之氏は、「アートとしてのものでなく、乗客 に不自由さを与えない装飾に心がけました。『こんな電車があったらいいな』を再現した、未来の電車のイメージを提案。

このイベントで人が乗って走ったという事実ができました。緑化は実際にやってみて良さが伝わるものです。近い将来、ワクワクひらひらリニモのような、本当の意味でのグリーン車が当たり前になればうれしいですね」と話した。乗客からも「これまでにない、とても楽しいイベントでした。1回限りでなく、定期的に開催してほしい」など、続行を希望する声が多数上がる充実した取り組みとなった。







ライブ等のミニイベントも実施



茂木久美子講師

ガーデン会を考える会 10月度研修会

会員研修委員会委員長 (株)ニチカン 中河 元

10月15日、ガーデンを考える会とリードエグジビションジャパンのコラボ企画で、第9回国際ガーデンEXPO(GARDEX)内「花・ガーデン業界活性化のためのセミナー」にて、茂木久美子講師による『人の5倍売る技術~テクニックより大切なもの~』を企画致しました。当会・GARDEXからの申し込みと合わせて98名のご参加をいただき大盛況でした。

茂木さんは、元東北新幹線のカリスマ販売員で、普通は一人一日7万円平均の売上規模のところ、最高55万円を売り、記録を残されたと聞いていたので、講師のどの様な点が、ほ

かの人より優れているのかを注目して聴講しました。

色々話されましたが、まず、お客様に興味を持つ事が本当に大切であり、とにかく、多くの人に御声がけをすることが、接客の入り口である。という事が良く解りました。また、お客様をリラックスさせるために東北弁での雑談接客で、お客様と、販売員との垣根を超えるなど、工夫も、素晴らしいと感じました。

また、ただ商品を売るだけでなく。販売する商品がどの様なところでどの様な方々が、どの様な方法で、どの様な思いで作られているのかを、見学にいき、商品を理解して、販売数量が伸びた話しや、お客様のニーズをメーカーに伝える事で、更に売れる商品にしていった話しを、聞き、商品を深く知り、商品を好きになる事の重要性にも、気づかされました。

やはり、人より成果を出す為には、通り一片の事をやっていては、ダメで、自らが、主人公として使命感を持って仕事することの、必要性をすごく感じられる講演会でした。







kaede



第10回震災支援活動報告

支援推進委員会委員長 豊明花き(株) 村雲俊作

東日本大震災地域の小学校に対する支援活動として、10回目の支援活動を行いました。

今回は、学校行事多忙の時期等で直接訪問しての活動が希望少数だったため、物資による支援となりました。

希望内容を聞き取りし、プランター110個、肥料306袋、培養土479袋、花苗はストック・パンジービオラを主体にアリッサム・ノースポール・チューリップ・クリスマスローズ・ラベンダーなど約4500ポットの花苗や球根を、気仙沼市の8校、釜石市の5校に10/19~21到着で贈らせていただきました。

今までの支援先は、気仙沼市内の小学校が主だったのですが、今回は釜石市内の小学校からの応募が増え、学校側の受け入れ体制が進んだように感じました。また、釜石の支援先小学校からは、鹿に食べられない花を希望され、クリスマスローズ、ラベンダーを選びました。果たして残るかどうかも心配なところです。

来年春は、5月下旬の支援を予定しております。「ガーデンを考える会」として支援活動を始め、6年目の節目の春を迎えます。この支援活動には、多くの会員様に協力を呼びかけ、現地活動が盛大に行なえたらと考えております。

会員の皆様宜しく御願い致します。

協力各計

資材協力 アップルウェアー、ハイポネックスジャパン

花材協力 フラワーオークションジャパン、桂花園、

愛知県小牧市(非会員) 芳樹園、豊明花き

支援金 ハクサンインターナショナル 牧野 JOYアグリス









Japan Home & Building Show2015

住宅および店舗・施設などの建築物のための建材・部材・設備・サービスが一堂に展示される専門展示会の総称「Japan Home & Building Show」では、「庭づくり・ガーデニング展」を新設し、エクステリア販工店や造園業者等を動員する。



庭を含めたエクステリアは、建物の外観を良くし、安全性・防犯性を高めることに貢献する大切な要素であり、 家族団らんの場や子供が遊べる場、趣味の場でもあるのが庭の存在。同展では庭づくりも含めた家づくりの視点から価値ある住宅をつくるための関連製品・サービスの出展を予定。

2015年11月18~20日 東京ビッグサイトで開催。入場事前登録制。http://www.jma.or.jp/jhbs/



日本フラワー&ガーデンショウ 2016

(一社)日本家庭園芸普及協会では「第26回2016日本フラワー&ガーデンショウ」の出展社を募集開始した。開催地をパシフィコ横浜に移し4月22日~24日にかけて開催する。ショウテーマを「花を楽しみつくす~五感で楽しむ花と緑のある暮らし~」とし、「見る」「食べる」「学ぶ」イベントを予定している。出展申込締切12月25日。

http://www.kateiengei.or.jp/show/







売店の現場で思うこと

兵庫県の川西市で店が始まって約40年。

自社生産農場ができ、そこで大株パンジーとビオラを生産し始めて約20年。今ではその品種 も100品種を超えました。そんなパンジーとビオラも本格的な秋の園芸シーズンに入り、店頭に 並べられ、待ってましたといわんばかりに毎日お客様がご来店されています。私は、このシーズ ンになると、どうしても思い出す出来事があります。



緑のマーケット 川西本店店長 坂 一朗

数年前、60歳代位の女性のお客様が「プランター10台にパンジーだけを植えて配達してほし い」とご来店されました。私はお客様と、どの色が良いか一緒に選び、後日パンジーでいっぱい のプランターを配達しました。配達後、玄関前やアプローチ、門の前など、数カ所に何度も置き 直して、ようやく置き場所が決まり、お客様も喜んでおられました。

するとお客様は私に、「毎年この季節になると、緑のマーケットで主人とパンジーを買って一緒に植えていたけど、今 年は主人が病気で入院していて、明日退院するから、帰ってきたときにきれいなパンジーいっぱいで出迎えてあげた かった」と話してくれました。

私が、花を買いに来られるお客様一人一人が、色々な思いがあってご来店されていることを改めて実感した出来事でした。

今の時代、必要なものは、わざわざ店に行かなくてもインターネットで簡単に購入することができます。植物も例外で はありません。

しかし、売店では商品を買うこと以外の付加価値があります。

それが「コミュニケーション」です。

売店で接客していると、お客様の直接の声を聞くことができます。とりわけ、当店は地域に根ざして、お客様の声 を聞き、コミュニケーションを大切にしてきた歴史があり、今の時代の小売店では珍しいくらい、お客様との会話が 多い店だと思います。それは扱っているのが植物であることも大きく影響していると思います。

家庭菜園を始めるための野菜苗、引越した部屋に飾る観葉植物、贈り物の鉢花などなど。どのお客様も必ず色々な 思いがあって植物を求めご来店されます。

また、お客様の思いを聞くこともできますが、生産者やメーカーの方などの思いをお客様に伝えることもできます。

どのような商品が売れるか、どのような売場にしたらいいか、など考える毎日ではありますが、「売店という現場の 声」と「気持ちを繋ぐ」ことを大切に園芸専門店を続けていきたいと思います。



会員紹介⋅

㈱グリーン情報

1980年10月タブロイド判新聞・グリーン情報創刊、1988年8月 (株)グリーン情報設立。1990年から園芸雑誌として月刊化。単行本 の製作販売のほか、経営セミナー・園芸店視察ツアー・商談イベン トなどを企画。植物生産・資材メーカーの最新情報を流通・小売 へ、また、流通・小売現場の情報を生産メーカーへフィードバック する業界内全業種向けの情報を全国に向けて発信する。月刊グリー ン情報は2008年まで。2009年から誌面体裁を一新し隔月発行の「グ リーン情報GardenCenter」としてリニューアル、現在に至る。

ガーデンを考える会は1996年11月の設立から事務局、その他フ ラワートライアルジャパン、日本園芸文化ルネッサンス協会の事務 局、日本ハンギングバスケット協会等の会報誌編集などを行う。





名古屋市西区名駅 2-25-10 ヤマエイビル 4 階 TEL 052-571-2200 FAX 052-571-2208 HP http://www.green-joho.jp